

表面コートが可能にしたノンケミカル持続性除菌・抗菌剤



# CITRUBUSTER

無味・無臭

アルコールフリー

歯科医院専用

シトラバスターはグレープフルーツ種子から抽出されたポリフェノールを主成分とする天然抗菌料配合製剤です。アルコールや塩素等の化学物質を含まないノンケミカルのため、あらゆる場面の抗菌対策に安心してお使い頂けます。当製品の主成分ポリフェノール(脂肪酸フラボノイド)は抗菌力が極めて高く、さらに抗ウイルス作用(ウイルスの生理活性を妨げ死滅させる)も期待でき、作用を持続させる特長があります。



## シトラバスター抗菌の仕組み

**1** 抗菌したい場所にシトラバスターを噴霧

菌・ウイルス

シトラバスター表面コート

**2** 菌・ウイルスがシトラバスターに接触

スパイク  
テグメント  
エンベロープ  
核酸

**3** 溶質の浸透圧差により細胞膜が破壊される

# CITRUBUSTER

## 長時間コートで ウィルス・細菌を迎撃!

医療現場では常識の床からの感染も  
シトラバスターを噴霧することで  
防ぐことができます!



### シトラバスター X500 (シトラバスター) 乾燥検体の抗菌力性能試験

1. 検査機関: 環境衛生検査センター主任検査技師常盤俊之
2. 験期間: (1) 2015年9月15日~2015年9月28日
3. 試験試料: (1) ブランク (滅菌検査パック)
4. 試験条件: 直後~7日間 25°C 放置
5. 試験方法:
  - 検体調整: シトラバスター液を滅菌生理食塩水を用いて 500 (X500) 倍希釈したものを、5 X 5cmに切り出した滅菌検査パック表面に 0.2ml 塗沫処理後、25°Cのフラン器内で所定期間 (直後、1,2,3,4,5,6,7日間) 乾燥したものを供した。また、未処理の滅菌ケンサパックをブランクとした。
  - 前培養: 供試菌は標準寒天培地 (白水) で 37°C 24 時間前培養して試験に供した。
  - 菌液調整: 前培養した供試菌は 1/500NB 培地を用いて約 10<sup>8</sup>CFU/ml になるように調整し作製した。
  - 前培養: 供試菌は標準寒天培地 (白水) で 37°C 24 時間前培養して試験に供した。

	Escherichiacoli KEC-B-001 大腸菌	Staphylococcus aureus KEC-B-002 黄色ブドウ球菌	Pseudomonas aeruginosa KEC-B-006 緑膿菌	Bacillus subtilis KEC-B-003 枯草菌
接種菌数	6.1 × 10 <sup>5</sup>	6.3 × 10 <sup>5</sup>	6.4 × 10 <sup>5</sup>	5.2 × 10 <sup>5</sup>
初発	2.3 × 10 <sup>5</sup>	2.5 × 10 <sup>5</sup>	2.2 × 10 <sup>5</sup>	2.3 × 10 <sup>5</sup>
ブランク (滅菌ケンサパック) 24 時間後	 5.1 × 10 <sup>5</sup>	 5.8 × 10 <sup>5</sup>	 6.8 × 10 <sup>8</sup>	 5.7 × 10 <sup>5</sup>
シトラバスター (X500) 添加滅菌ケンサパック 24 時間後	 <10 <sup>1</sup>	 <10 <sup>1</sup>	 <10 <sup>1</sup>	 <10 <sup>1</sup>
シトラバスター (X500) 添加滅菌ケンサパック 7 日後	 <10 <sup>1</sup>	 <10 <sup>1</sup>	 <10 <sup>1</sup>	 <10 <sup>1</sup>

CFU/ml

### インフルエンザウィルス不活性化定量試験

1. 検査機関: 北里大学 医療衛生学部
2. 試験内容: シトラバスター WJ-014 (シトラバスター原液) のウィルス不活性化定量試験
3. 試験品: シトラバスター WJ-014 (シトラバスター原液)
4. ウィルスと細胞: influenza virus A 型 / duck/Hokkaido/5/77 (H3N2) MDCK 細胞
5. 試験方法:
 

細胞毒性試験で得た細胞毒性濃度以下に調整した試験品の液 (10 倍希釈液) にインフルエンザウィルスを 1/10 量加えた (ウィルスの最終濃度は 10 PFU/ml になるようにリン酸緩衝液で調整した。) 作用温度は室温とし、作用時間は 5 分間、30 分、1 時間及び 3 時間とした。作用液中の生残ウィルス量をブラック法で定量した。試験品の濃度 0% の作用液 (リン酸緩衝液) の生残ウィルス量を不活性化率 0% として、試験品のウィルス不活性化率を求めた。

作用時間	作用液	試験	生残ウィルス PFU/ml	生残率%	不活性化率%
5 分間	シトラバスター (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.02	> 99.98
		2	<5 不検出	<0.02	> 99.98
	リン酸緩衝液 (対照)	1	2.5 × 10 <sup>4</sup>	100	0
		2	2.3 × 10 <sup>4</sup>	100	0
30 分間	シトラバスター (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.02	> 99.98
		2	<5 不検出	<0.02	> 99.98
	リン酸緩衝液 (対照)	1	2.4 × 10 <sup>4</sup>	100	0
		2	2.3 × 10 <sup>4</sup> *10 <sup>4</sup>	100	0
1 時間	シトラバスター (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.03	> 99.97
		2	<5 不検出	<0.03	> 99.97
	リン酸緩衝液 (対照)	1	2.0 × 10 <sup>4</sup>	100	0
		2	1.8 × 10 <sup>4</sup>	100	0
3 時間	シトラバスター (10 <sup>4</sup> 倍希釈)	1	<5 不検出	<0.03	> 99.97
		2	<5 不検出	<0.04	> 99.96
	リン酸緩衝液 (対照)	1	1.7 × 10 <sup>4</sup>	100	0
		2	1.4 × 10 <sup>4</sup>	100	0

### グレープフルーツ種子抽出における合成殺菌剤配合検査

#### 有害物質分析試験成績

1. 試験機関: 財団法人日本食品分析センター
2. 試験番号: 第 108064346-001 号
3. 試験内容: シトラバスターの有害物質測定試験
4. 試験品: シトラバスター
5. 分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
ソルビン酸	検出せず	0.005g/kg		液体クロマトグラフ - 質量分析法
パラオキシ安息香酸メチル	検出せず	0.005g/kg		液体クロマトグラフ - 質量分析法
パラオキシ安息香酸プロピル	検出せず	0.005g/kg		液体クロマトグラフ - 質量分析法
トリクロサン	検出せず	0.01g/kg		高速液体クロマトグラフ法
塩化ベンゼトニウム	検出せず	0.1g/kg	1	液体クロマトグラフ - 質量分析法

注 1. 検出限界は検体由来する測定上の妨害物質のため、0.1g/kg とした。

- 使用方法
  - ・ご使用前に軽く振ってから直接スプレーしてください。
  - ・布などに染み込ませて拭いてください。

- 取扱例
 

歯科器具の除菌抗菌、診察ユニットの除菌抗菌、マスクや白衣の除菌抗菌、スリッパの除菌抗菌、院内トイレ、壁、床、ドアノブ、テーブル、手すりなどの除菌抗菌。その他キッチンや風呂など菌の繁殖が気になる箇所全般に安心してお使い頂けます。ご自身のトータルな抗菌ケアにもお使いください。

- 注意事項
  - ・直射日光や高温多湿を避け常温で保管してください。
  - ・目に入ったら流水でよく洗いながしてください。

◇無色 ノンケミカル ◇無臭 非引火性・アルコールフリー  
◇日本製 ◇内容量 4L

#### 販売元

